

丸森町国民健康保険丸森病院

まるもり病院だより

第16号

平成30年11月
発行

〒981-2152 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋27 TEL 0224-72-2131 FAX 0224-72-2474

丸森病院
基本理念

私達は、住民の皆様信頼され愛される病院づくりを目指します



入院中不安なことがあればご相談ください

3階療養病棟のご紹介

3階病棟は、内科、外科、整形外科の混合病棟です。肺炎、尿路感染症、糖尿病、骨折後リハビリ等で治療を必要とする患者様が多く入院しています。

チームで情報共有しながら、患者様が満足できるケアを心がけています。

また、院内外他職種と連携し、患者様、ご家族が安心して生活できる退院支援も行っています。退院後の生活で不安なことがあればご相談ください。よろしくお願いいたします。

インフルエンザ予防接種ご希望の方へ

事前に電話又は窓口で予約が必要です（電話 72-2131）

《予防接種の曜日・時間》

- 大人の方 ⇒ 月曜日～金曜日：午前11時から
火曜日・木曜日・金曜日：午後2時
- 子ども（小学生から18歳） ⇒ 毎週火曜日の午後2時から

※ワクチンの不足等により、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。



歯周疾患と全身の健康

11月は、「いい歯」の月間です。歯科外来の歯科衛生士の皆さんに、お口の中の細菌と全身の健康について教えていただきます。

1. 細菌って？ 小さな殺し屋…？

健康な人の体には、ブドウ球菌や連鎖球菌などたくさんの細菌やウイルスが存在しています。お口の中には、何と300から500種類、歯磨きがおろそかですと1兆個のも細菌やウイルスがいるといわれます。

その細菌は、直径が1マイクロメートル（1ミリの1,000分の1）、ウイルスはさらに細菌の50分の1と、想像がつかないくらい小さなものですが、私たちが生きていくのに欠くことのできない細菌もいれば、人間の生命を奪う病原性細菌もいるのです。



2. 口の中は細菌の巣窟

口の中の細菌は、歯やその周囲、舌・頬・咽頭など粘膜に頑固にへばりついていて、それぞれの縄張りを作っています。

その口の中に住み着く細菌の多くは、酸素がなくても生きられる嫌気性細菌です。特に、歯と歯ぐきの間に細菌が入り込んで溝が深くなると「歯周ポケット」ができ、歯周病の状態になります。その「歯周ポケット」には酸素がないため嫌気性細菌の快適な「住みか」となり、歯周病がますます進行するのです。

3. 歯周病菌と全身の関わり

歯周病は口の中の病気と、単純にとらえるのがかつての一般的な考え方でした。しかし、研究が進み、実は歯や口だけでなく全身の健康に深く関わっていることが明らかになってきています。歯周病と関連があるといわれている疾患には

- 細菌を直接誤嚥（ごえん）すると ⇒ 誤嚥（ごえん）性肺炎
- 細菌が「歯周ポケット」内から血液に入り込み全身を駆け巡ると⇒早期低体重児出産、認知症、心疾患、糖尿病、結腸・大腸がん、リウマチ、脳出血、骨粗しょう症などになります。

健康寿命の延伸には、歯周病を予防すること、あるいは早期に発見して治療することが重要です。

理学療法室より

理学療法士 横澤 慎太郎

丸森病院のリハビリ部門には、理学療法士2名が在籍しています。

理学療法とは病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人に対し、運動機能の維持・改善を目的に運動、温熱、電気などの物理的手段を用いて行われる治療法です。

理学療法の対象者は主に運動機能が低下した人ですが、その原因は問いません。中枢神経疾患（脳卒中、脊髄損傷、脳の外傷、中枢神経の変性疾患、腫瘍、脳血管の異常など）、整形外科疾患（骨折、腰痛、頸部痛、肩関節周囲炎、退行変性疾患、腰椎椎間板ヘルニア、靭帯損傷、変形性関節症、四肢の切断、様々な運動器由来の疼痛など）はもちろん、高齢や手術により体力が低下した方々などが含まれます。

理学療法の直接的な目的は運動機能の回復にあります。ADL（日常生活動作）の改善を図り、最終的にはQOL（生活の質）の向上を目指します。病気、けが、高齢などの原因で寝返る、起き上がる、座る、立ち上がる、歩くなどの動作が不自由になると、ひとりでトイレに行けなくなる、着替えができなくなる、食事が摂れなくなる、外出ができなくなるなどの不便が生じます。これらの動作をひとの手を借りず、行いたいと思うことは自然なことで、ADLの改善はQOL向上の大切な要素になります。

丸森病院の患者様も高齢化が進んで、80～90歳代が中心となっており、時には100歳を超える患者様を担当することもあります。患者様やご家族の希望を、その通りに実現して差し上げられないことも現実としてあり、自己研鑽に努めていかなければならないと感じています。今後も患者さんの希望を実現できるように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



健康豆知識

骨粗しょう症ってどんな病気？



副院長（外科）

深谷 雄一郎

骨粗しょう症とは骨がスカスカになる病気で、骨粗しょう症になると、ちょっとしたことで骨折しやすくなります。

女性は閉経で女性ホルモンが下がりこれとともに骨密度が低下し、50歳以上の女性では9人に1人、60歳以上の女性3人に1人、70歳以上になると女性の2人に1人がこの病気にかかっています。

骨粗しょう症になると背骨（椎体）の骨折が起こりやすくなります。背中が曲がるのは年のせいではありません。病気のためだったのです。

将来のあなたの健康のために骨粗しょう症による骨折がもたらすリスクを考えましょう。

背骨が折れて背中が曲がる。骨折で寝たきりになると思ったように動けない。

家族に介護の負担をかける。医療費が馬鹿にならない。

まず、自分の骨密度を計測しましょう。近くの医療機関に相談しましょう。

骨を強くし骨粗しょう症を予防するため、運動をする習慣をつけましょう。

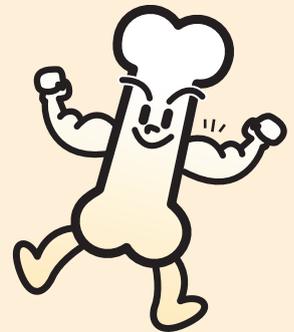
片足立ち スクワット 椅子などにつかまって、床につかない程度に片足を上げる
1回の操作に10～20秒かけて6回から10回を3セット

骨粗しょう症チェック

ひとつでも当てはまる方は、背骨の骨折が疑われます。

- 以前より2 cm以上身長縮んだ。
- 最近姿勢が悪くなり腰や背中が曲がってきた。
- 腰や背中に重い感じや痛みがある。

骨粗しょう症は自覚症状が全くないことが多いので当てはまる項目がなくても、ご家族に骨粗しょう症の方がいる等気になる方は、病院で相談してみましょう。



骨粗しょう症を放っておいて繰り返し骨折が起きないように女性の健康寿命を守りたいものです。気になる方は、是非外科にご相談ください。お待ちしております。

病院職員紹介

- ①名 前
- ②職種又は役職
- ③自己アピール

- ①八木 健二
- ②診療放射線技師
- ③ご縁があり、6月から再び丸森病院に勤務させていただくことになりました。よろしくお願ひします。



看護スタッフを募集しています!

看護師、准看護師、看護助手を随時募集しています。

ご本人はもちろん、知人の方でもどうぞご相談ください。

TEL: 72-2131

インフルエンザ感染防止にご協力ください

今年も、インフルエンザなどの感染症が流行する時期になりました。



入院患者様への面会制限を行います

12月1日から、患者様への面会のご家族(配偶者・子・身の回りのお世話をされる方)のみとさせていただきます。当院に入院されている方は、抵抗力が低下している方が多いことから、入院中の患者様への感染拡大を防止するための取り組みです。

患者様、ご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。

また、流行の状況によりましては、制限をより厳しくさせていただくこともありますのでご容赦ください。

面会時のお願い

ナースステーションのスタッフに面会することをお伝えください。

病棟に入られる際には、アルコールによる手指消毒とマスク着用をお願いします。

外来受診時の咳エチケット

外来（内科・外科・整形外科）受診される方やそのご家族の方で、咳が出る場合は、感染防止のため、マスクの着用をお願いします。

平成29年度における新改革プランの実施状況について

1 財務内容の改善に係る数値目標

単位：%

区 分	目 標	実 績	類似規模全国平均	摘 要
a 経常収支比率	92.5	102.7	99.3	医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標です。100%以上の割合は、単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字となります。
b 医業収支比率	82.6	92.2	99.2	病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標です。この指標は、大きいほど良いとされています。
c 職員給与費対医業収支比率	66.0	48.5	52.8	医業活動から生じる医業収益に対する職員給与費の割合を示す指標です。この指標は、小さいほど良いとされています。
d 病床利用率				年延入院患者数÷年延病床数×100で算出します。病院の施設が有効に活用されているかどうかを判断するための指数です。この指標は、100に近いほど良いとされています。
一般病床	76.4	75.2	74.7	
療養病床	85.7	74.4	76.5	

※実績欄の数値は、決算統計のデータに基づき算出したものです。

2 公立病院として提供すべき医療機能の確保に係る数値目標

単位：人

区 分	目 標	実 績	摘 要
a 入院・外来患者数			
入院患者数	26,500	24,598	当院は町内唯一の入院施設を備えた病院であるため、一次救急や検診事業などの予防医療を行いながら、2次医療機関で急性期医療の終わった患者の受け入れを積極的に行い、入院・外来患者の増加に努めています。
外来患者数	41,000	39,413	
b 救急車による受入れ患者数	200	232	年間の数値目標値を、200人と設定しています。

3 サービス向上に係る目標

単位：件

区 分	目 標	実 績	摘 要
a 医療福祉・介護・退院支援等相談件数	1,700	1,502	住民の医療に対する要望は、多様化しています。需要が増えることが予想されることから、計画の最終年度である平成32年度の相談件数を1,850件と設定しています。

4 決算状況(収益的収支:税抜き)

(1) 収 益

単位：円

区 分	項 目	金 額
1 医業収益	1 入院収益	492,138,745
	2 外来収益	280,905,773
	3 その他医業収益	115,136,000
2 医業外収益	1 受取利息及び配当金	2,257
	2 負担金及び交付金	245,121,000
	3 長期前受金戻入	13,559,986
	4 引当金戻入	2,158,712
	5 その他医業外収益	1,669,802
合 計		1,150,692,275

(2) 費 用

単位：円

区 分	項 目	金 額
1 医業費用	1 給与費	624,198,537
	2 材料費	95,476,233
	3 経費	278,490,436
	4 減価償却費	60,500,332
	5 資産減耗費	259,712
	6 研究研修費	1,520,823
2 医業外費用	1 支払利息及び企業債取扱い諸費	29,643,172
	2 長期前払消費税償却額	0
	3 消費税	28,915,145
3 特別損失	1 過年度損益修正損	1,713,491
合 計		1,120,717,881

(3) 当期純利益 **29,974,394円**

(収益1,150,692,275円－費用1,120,717,881円)